

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【公開番号】特開2006-240056(P2006-240056A)

【公開日】平成18年9月14日(2006.9.14)

【年通号数】公開・登録公報2006-036

【出願番号】特願2005-58813(P2005-58813)

【国際特許分類】

B 2 9 C 67/00 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 67/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月2日(2008.5.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の平板状の樹脂層を所定の樹脂を硬化させることによって順次に形成しつつ、当該樹脂層が形成されるごとにこれを順次に積層することで、所定の三次元造形物を造形する光造形装置であって、

三次元造形物が造形される造形部と、

前記造形部に対して樹脂を供給する供給手段と、

前記供給手段によって供給された樹脂を平滑化する平滑化手段と、

光源から発せられた光を変調手段によって変調したうえで前記造形部上で平滑化された樹脂に照射する照射手段と、

前記平滑化手段の清掃を行う清掃手段と、

を備えることを特徴とする光造形装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の光造形装置であって、

前記平滑化手段は少なくとも先端部分が略平板状をなす平滑化部材を備え、

前記清掃手段は、所定の掃拭部材によって前記先端部分を掃拭することにより清掃を行う、

ことを特徴とする光造形装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の光造形装置であって、

前記掃拭部材は所定の駆動手段によって前記平滑化部材に沿って移動可能とされており、

前記掃拭部材の圧接面を前記先端部分に圧接させつつ前記平滑化部材に沿って移動させることにより清掃を行う、

ことを特徴とする光造形装置。

【請求項 4】

請求項 2 または請求項 3 に記載の光造形装置であって、

前記掃拭部材が多孔性の部材である、

ことを特徴とする光造形装置。

【請求項 5】

請求項 2 または請求項 3 に記載の光造形装置であって、
前記掃拭部材が、ランダムな三次元的網目状構造を有してなる部材である、
ことを特徴とする光造形装置。

【請求項 6】

請求項 2 または請求項 3 に記載の光造形装置であって、
前記掃拭部材が、所定の不織布素材を積層接着してなる積層体である、
ことを特徴とする光造形装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

請求項 3 の発明は、請求項 2 に記載の光造形装置であって、前記掃拭部材は所定の駆動手段によって前記平滑化部材に沿って移動可能とされており、前記掃拭部材の圧接面を前記先端部分に圧接させつつ前記平滑化部材に沿って移動させることにより清掃を行う、ことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

請求項 4 の発明は、請求項 2 または請求項 3 に記載の光造形装置であって、前記掃拭部材が多孔性の部材である、ことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項 5 の発明は、請求項 2 または請求項 3 に記載の光造形装置であって、前記掃拭部材が、ランダムな三次元的網目状構造を有してなる部材である、ことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

請求項 6 の発明は、請求項 2 または請求項 3 に記載の光造形装置であって、前記掃拭部材が、所定の不織布素材を積層接着してなる積層体である、ことを特徴とする。